

〈中部版スクラム教育事業〉令和7年度 第1回生徒指導担当者研修会

この研修会は、中部地区小・中学校におけるいじめ、不登校、問題行動等の生徒指導上の諸問題の解決に向けて、担当者としての知識や見解を深め、指導力の向上を図ることを目的として毎年開催しています。

今年度は、第1回として、4月3日（木）に各小中学校の生徒指導担当者を対象に、「いじめへ適切な対応」をテーマとして行いました。

当日は、講義や演習をとおして、次の3点を確認しました。

○個人の判断ではなく、学校組織全体で判断し対応することの重要性

○未然防止と早期発見・早期支援の大切さ

○対応のシステムを可視化し、情報共有を徹底していくことの重要性

活発な意見交換や情報交換がなされ、担当者同士のつながりをつくる良い機会となりました。

参加者の振り返りを幾つか紹介します。

- 生徒指導主事として情報を取りまとめ、管理職への報連相を徹底していきたいと思います。また、組織的に対応することの大切さを職員に広げたいです。
- いじめ事案を検討する中で、未然防止の取組や報告、連絡、相談の重要性を職員に周知徹底することが大切であると改めて感じました。事案が起きた際に学校全体で対応できるような体制を整えていきたいです。
- 今回初めての生徒指導担当になります。組織、チームで動くことが何よりも大切と思いました。情報共有等の要として尽力していきたいと思います。
- 生徒指導を行うにあたり、組織的指導力の必要性を改めて感じました。そのために、対応のシステム化について可視化し、学校全体で共通理解できるようにしていきたいです。いじめへの対応については、教員が把握した情報が速やかに報告されるよう、いじめの認知までの流れを年度はじめに校内で確認したいと思います。
- 今回の研修を通して、いじめの未然防止や発生した際の対応など、学校全体で同じ方向に進めるように意識していきたいと思います。そのために、情報共有を積極的に行い、いつでも組織的に対応できる環境を整えていきたいと思います。



第2回生徒指導担当者研修会は「不登校支援」を主なテーマとして8月6日（水）に開催します。